

第5回 西風新都交通スマート化研究会要旨

1 名称

第5回 西風新都交通スマート化研究会

2 開催日時

平成26年9月16日（火）～22日（月） 個別に意見聴取

3 説明先

委員全員

4 議題

- （1）西風新都の現状と交通スマート化の方向性
- （2）スマート化の進め方
- （3）アンケート調査について
- （4）今後のスケジュールについて

5 研究会資料名

資料1 第5回研究会 説明パワーポイント

資料2 超小型モビリティ実証実験アンケート

6 質疑応答

- （1）実証実験について

【委員】

アストラムラインの駅周辺に駐車場を確保するのか。

【西風新都整備部】

アストラムラインへ乗り換えができるように大原駅と伴中央駅に駐車場を確保する。駐車した車を他の人が利用できれば効率的だが、乗り捨て形式で運用するのは難しいので、出発地に戻るまで同じ人が利用するようにしている。

【委員】

モニターに対し、運転しても問題ないか事前確認をするのか。また、事故をした場合の連絡先はどうするのか。

【西風新都整備部】

安全運転講習のときに車両を運転をしてもらい、運転に問題ないか確認する。また、モニター登録をする際の書類に、運転に支障がないか確認するための質問事項を設けている。また、事故の際は市に連絡するようにしており、モニターに配布する安全運転マニュアルに連絡先を記載する。

- （2）アンケートの内容について

【委員】

モニターの自動車の保有についての質問は、軽自動車と普通車に分けたほうがよい。また、超小型モビリティの評価として、空調や室内環境などの快適性を聞いてはどうか。

その他、グループモニター管理者用アンケートで、(1)グループ内の車両の割り当て(2)車庫の場所(3)

キーの管理方法について、該当するもの全て○にするようになっているが、おおよその割合を聞くとよい。

【西風新都整備部】

内容を変更する。

【委員】

車両を共同利用する場合の1回あたりの利用額を尋ねているが、設定金額が安くないか。

【西風新都整備部】

横浜のカーシェアリングでは、バスとタクシーとの間の料金設定にしており、これを参考にタクシーより安い設定とした。

【委員】

交通系ＩＣカードの所持についての意図は何か。

【西風新都整備部】

来年度の社会実験では、ＩＣＴを活用した予約システムの運用を考えており、モニターの個人認証にＩＣカードを使う。このため、多くの人が所有している交通系ＩＣカードでの認証を想定し、実際にどの程度所有しているのかを確認したい。

（３）本格実施について

【委員】

将来的には、地域が自分たちでコストを賄うような仕組みをイメージしているのか。

【西風新都整備部】

基本的に車両を利用する地域団体などで賄うように考えている。ただし、公益性が高い利用が認められれば、車両購入費用などのイニシャルコストの一部を助成することができると思う。

【委員】

このサービスは、性格がコミュニティバスやデマンドバスに近いかもしれないので、バスとの関係性をどうするのかということが出てくるだろう。どういう地区でどういう人達を対象に助成するのかという選定が難しいと思う。今回のアンケート調査でも、実験地域に限らず地域に導入する場合に、どんな方に、どんな目的で使用するのがよいかなど、今後のルール作りの検討材料となる質問を設けてはどうか。

利用者数が増えると他の利用者とのバッティングが増えるなど、当然制約が増える。アンケート調査の共同利用の設問で、より具体的な内容を確認してはどうか。

【西風新都整備部】

アンケートに質問を設ける。

【委員】

本格実施のときには、各地区の車両を地域毎に色を変えるとか、違うラッピングをすれば、地域にも愛着がわき浸透すると思う。

【西風新都整備部】

本格実施の際に検討していく。